

会議録

会議の名称	令和5年度第1回ふじみ野市地域福祉計画審議会			
開催日時	令和5年7月7日(金) 開会時刻 午後2時10分 閉会時刻 午後4時10分			
開催場所	ふじみ野市役所第3庁舎2階 C201・202会議室			
出席した者の氏名	役職名	氏名	役職名	氏名
	会長	山本 美香	事務局	仲野 公堅
	副会長	岡田 哲郎	事務局	佐々木 佐代
	委員	今野 悦也	事務局	角張 ちひろ
	委員	柳川 道子	福祉総合 支援チーム	大川 優生
	委員	小林 和恵	社会福祉協議会	土屋 範久
	委員	小菅 友美	社会福祉協議会	植草 英二
	委員	村田 和也	ジャパン総研	地引 綾
	委員	鹿島 貴彰	ジャパン総研	新橋 明奈
会議の議題	(1) 第3期ふじみ野市地域福祉計画 骨子案について (2) 第3期ふじみ野市地域福祉計画の基本理念・基本目標について			
会議の公開又は非公開の別	公開			
会議の非公開の理由				
傍聴人の数	0人			
発言の内容	別紙「発言の要旨」のとおり			
会議資料	別添のとおり			
事務局	福祉部地域福祉課			
議事の確定	確定年月日	令和5年7月 日		
	記名押印 又は署名	役職名 会長 山本 美香 <span style="float: right;">㊟</span>		
※自署の場合は、押印不要です。				

## 発言の要旨

発言者	発言の要旨
仲野課長	<p>会議開会に先立ち、事務局より伝達事項がございます。 市では、開かれた市政を推進するため審議会等の会議を公開することとしており、本審議会についても、会議を公開することとなっております。 本日の傍聴希望者はありませんので、このまま会議を開会させていただきます。</p>
仲野課長	<p>1. 開会 それでは、令和5年度第1回ふじみ野市地域福祉計画審議会を開会します。 本日の審議会委員の出欠状況でございますが、欠席の委員は奈良委員、市来委員、関根委員、當麻委員、山城委員、小泉委員の6名で、出席委員は8名となっております。本審議会の総委員数は14名です。本日の出席委員数は、半数以上が出席されており、ふじみ野市地域福祉計画審議会条例第6条第2項に基づく審議会の開催要件を満たしていることをご報告します。</p> <p>また、本日の審議会には、ふじみ野市地域福祉計画審議会条例第6条第4項の規定により、ふじみ野市社会福祉協議会の職員、また第3期地域福祉計画策定のお手伝いをいただきます、受託業者の株式会社ジャパンインターナショナル総合研究所の職員にも出席いただいておりますので、ご報告します。</p> <p>ここで、本日の会議資料の確認をさせていただきます。</p> <p>(配布資料の確認)</p>
仲野課長	<p>それでは、次第の「2. 議題」に移ります。 ここからの進行は、ふじみ野市地域福祉審議会条例第6条第1項の規定に基づき、山本会長にお願いしたいと思います。 よろしく願いいたします。</p> <p>2. 議題 (1) 第3期ふじみ野市地域福祉計画 骨子案</p>
山本会長	<p>それでは、議題1「第3期ふじみ野市地域福祉計画 骨子案」について事務局より説明願います。</p>
事務局	<p>(事前送付資料①により第3期ふじみ野市地域福祉計画 計画書作成の工程イメージについて事務局より、事前配布資料②により骨子案についてジャパン総研より説明)</p>
山本会長	<p>ただ今、事務局から説明がありましたが、県および国の新たな動向等について、重要だと思うことなどご意見ありましたらお願いします</p> <p>私の方から1点お尋ねしたいのですが、骨子案4ページに「第二期成年</p>

<p>仲野課長</p>	<p>後見制度利用促進基本計画」の記述を入れているのは、やはりこの制度をどのように活用し、利用促進をしていくかということが非常に大きいポイントということで入れているのでしょうか。</p> <p>「第二期成年後見制度利用促進基本計画」については、自治体によって単独でつくることもあります。ふじみ野市においては、福祉の最上位計画である本計画の中で一緒につくっていかうと考えています。</p> <p>当市では令和2年4月に成年後見センターを立ち上げて以降、さまざまな成年後見に関する相談を受けており、また、市長申立てにかかる案件に関してもかなりの数を受けています。このことから、成年後見制度利用促進基本計画については本計画の中で一緒に策定をしていくことを今回検討しているところです。</p> <p>成年後見センターでは、相談件数も年々増えており、複雑化する多様な世帯も増えています。その中で、成年後見センターに限らず、色々な機関が連携して年齢、属性問わずさまざまな相談にのって、必要な機関に繋げていく、そのひとつの傾向として成年後見に関する相談が増えているというのが見えていますので、ますます重要になる事項と考えております。</p>
<p>山本会長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>そのように進めておられることは素晴らしいことだと思います。</p> <p>では、委員のみなさまからも何かご意見等ありますでしょうか。</p>
<p>柳川委員</p>	<p>国の動向として、成年後見制度の利用促進も重要ですが、市としては多層的な相談が福祉の領域で増加していると感じます。</p> <p>例えば子どもの問題では、家庭内虐待などを含む相談が増えています。第2期の本計画では、相談を軸にしながら、行政機関に留まらない横断的な相談体制の必要性を浮き彫りにしてきたと思います。</p> <p>ですので、第2期で取り組んできた包括的な相談・支援体制など、今後もそれぞれの領域を進化させていかないといけないと強く感じています。それに含めて、自助・共助・公助すべてが絡み合う地域の体制づくりも検討していかなければならず、地域の活動も進化させていかないとはいけません。</p> <p>そういったことを具体化できるように第3期の策定を進めていければと思います。地域の自助、共助を助けていく、いわゆる起業的な組織の在り方についてはまだ足りていないという実感がありますので、次期計画の課題として取り上げていただけたらと思います。</p>
<p>山本会長</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>おっしゃるとおり、浮き彫りになった問題について、相談体制として公的に整備するのか、共助としてどのように受け止めていくのかということ、色々な段階で相談体制を整備していくことが重要ですね。また、「起業的な」というお言葉もありましたが、市民活動や活動をしたいという意思のある方をどう支援していくかということ是非常に大事なことでありますので、社会資源の開拓も含めて計画に盛り込んでいけたらと思います。</p> <p>他にみなさまいかがですか。</p>

<p>今野委員</p>	<p>4ページの「新型コロナウイルス感染症拡大による生活環境等の変化」の部分ですが、自分が普段携わる地域活動に関しましては、感染症の拡大が落ち着いてきたことで、活発になりつつあります。</p> <p>その中で一番感じるのが、急速な高齢化で、町会活動をしているのはほとんど70代以上の高齢者です。また、コロナ禍の間に、出掛け先も話し相手もおらず、引きこもってしまい、頼る場所もないという人にも会います。支部社協、民生委員、いきいきクラブなど横のつながりを作っていますが、感染症が落ち着いても、外に出ていくことができなくなっている人がたくさんいたり、行く先々で色んな問題に直面しています。</p> <p>今年は、地域活動を活発にやっという行政の動きがありますが、それが個人にはうまく伝わっていないように感じますので、そのようなところの結びつきを作れる人、繋ぎ役がいてくれるとよいと思います。市が頑張っても、地域から崩れていってしまうと感じていて、私たちも一緒に活動してくれる人を探していますが、なかなかおらず、その関係が難しいです。</p> <p>市でも、コロナ禍の終わりが見えてきて頑張ってきているところで、私もできる限り協力したいとは思っていますが、とにかく人材がほしいと強く感じます。</p>
<p>山本会長</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>人材をどう醸成していくか、つなぐ人、結ぶ人がすごく大事だということは、とてもよいご指摘だったと思います。</p> <p>では、岡田副会長お願いします。</p>
<p>岡田副会長</p>	<p>1ページ目の「地域福祉とは？」に記載のある、自助・共助・公助のイメージについては、「まず自助、次に共助、前の2つで解決できないものは公助」という順序になっていて、今の実態を踏まえると、順序ではなく並列なのではないかということで、ここを修正した方がよいのではと感じました。というのも、自助や共助が黙っていると壊れていく中で、そこを強調されると、自己責任のように感じ取られてしまう心配がありました。</p> <p>一方で、自助や共助がないから結局公助でやりますというのは、それができないから、今、地域福祉計画があるわけですので、自助・共助を支えながら、それぞれが力を高め合って協同していくような関係にしていかないと、実態に合わないのではないかと考えました。</p> <p>今日議論する基本目標のⅡにある、「助け合い・支え合いの多様化と強化」というところが気になっていたのですが、結局「支え合い・助け合い」は今までのやり方だと限界があるところを強化というと、信ぴょう性に欠けてしまいます。むしろここは、「助け合い・支え合いをはぐくむ仕組み」を多様化して、強化していく、そのサポートやバックアップ体制が重要だということが今まで議論してきたことなのではないかと感じました。</p>
<p>山本会長</p>	<p>先程お話しいただいた基本目標についてですが、資料3にも同じ表記があり、「強化」という表現には強制感がでてしまい、そういった姿勢ではない、「自助・共助・公助」は順番ではなく並列で考えるというご意見でしたね。</p> <p>1ページの自助・共助・公助のイメージについては、第1期の頃からずっと変わっていないと思うのですけれども、今は考え方が大分変わってい</p>

山本会長	<p>ますので、この部分については再考していきたいと思います。</p> <p>他にご意見がないようですので、議題2に入らせていただきます。</p> <p>(2) 第3期ふじみ野市地域福祉計画の基本理念・基本目標</p> <p>それでは、議題2「第3期ふじみ野市地域福祉計画第3期ふじみ野市地域福祉計画の基本理念・基本目標」について事務局より説明願います。</p>
事務局	<p>(事前送付資料③により、検討事項とグループワークについてジャパン総研より説明)</p>
山本会長	<p>只今説明がありましたが、まずはじめに、グループワークを行いながら、基本目標1・2の表題にふさわしいキーワードを挙げていただきたいと思います。それでは、よろしく願いいたします。</p> <p>(「基本目標1・2の表題にふさわしいキーワード」について、各グループで、ポストイットへの書き出し作業と整理を行う)</p> <p>お時間となりましたので、グループワークを終了していただき、ここで10分間の休憩をします。</p> <p>(休憩 10分間)</p>
山本会長	<p>それでは、各グループで挙げたキーワードを発表していただきます。グループAから発表をお願いいたします。</p>
村田委員	<p><b>【グループAの発表】</b></p> <p>こちらのグループでは、地域と人のコミュニティづくりが必要ということで、キーワードが出ました。</p> <p>一番最初は「まずはあいさつから」ということで、「個人でつながる」ことや、隣近所で「声をかけてもらえる」こと、「あいさつで顔を合わせる」ことでつながりができ、そこで小さなコミュニティができていくのではと思いました。</p> <p>あとは、居場所づくりという観点で、「ふらっと立ち寄れる場所」や、「小地区でのサロンの充実・拡大」、「自分の特技を活かせる場」などがつくられることで、個人で参加や活動できる場所が選択できるようになることがいいと思います。</p> <p>さらに、「コミュニティに参加したいけれどできない人、そういった場がない人」に対して、「配食や買い物、外出支援」など、引きこもっている人が人との接点を持つことのできるサービスの展開、「ご用聞きのようなサービス活動」というのも必要なのではという話もありました。</p> <p>「障がいのある働き世代の方にも就労の場づくり」が今後は必要ではないかという話も挙がりました。</p> <p>目標まで完成することはできませんでしたが、人と会うということにつながりができ、孤立がなくなるのではと考えました。</p>
山本会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>続いて、グループBの発表をお願いします。</p>

<p>柳川委員</p>	<p>【グループBの発表】</p> <p>まずは、「ひとりぼっちにならない」というキーワードから話が始まりました。市内で、外国籍の方など、さまざまな人が保育園にいるのを目にすることがあり、その中で言葉の遅れに悩む方もいるようですが、家庭で使わない言語を突然保育園で使おうとしても、遅れてしまうは当たり前で、そういった状況や、国による考え方や制度の違いなどあるとは思いますが、悩みを抱えている人は、国際交流センターのように市内で活躍しているNPO法人などをもっと活用してほしいと感じました。</p> <p>また、みんなで繋がりとういっても強制にならないように、外国籍の方だけでなく、障がい者などに関しても、お互いの違いを認めた上で共生というものを考えていけたらよいという話にもなりました。</p> <p>岡田副会長に補足をお願いします。</p>
<p>岡田副会長</p>	<p>グループワークの出発点として、効率性を求める社会では行動もそのようになっていて、学校教育でも漏れていく人をつくり、息苦しい社会になってしまう。そこが基本目標2にも、社会構造の課題にも絡んでいると感じています。</p> <p>そこでキーワードとして「違いを認め合える」、「個人が響き合える」、「マイナスの環境でもプラスに変えていく」、そういった共生を支えるシステムも含めて、ふじみ野市でつくっていきたいと考えました。</p>
<p>山本会長</p>	<p>皆様、たくさんのキーワードありがとうございました。</p> <p>今回、基本目標3については、出席人数の関係でグループワークでの決定することができないため、個々でふせんに書き出させていただきたいと思います。</p> <p>（「基本目標3の表題にふさわしいキーワード」について、個人でポストイトへ書き出し、事務局が貼り出しと整理を行う）</p>
<p>山本会長</p>	<p>皆様ありがとうございました。</p> <p>たくさん書いていただいたものを見ていくと、「縁側のように普段着のまま」、「オープンな、みんなで悩みあえる場」、「地域で若い人を巻き込む運動」それから、「たらい回しにしない、つなげるだけにしない」、「垣根をこえた相談窓口」、「住民からの困りごとを専門機関へつなぐ」、「まずは受け止める」、「小さい範囲の窓口を設置していく」、「誰でもなんでも相談できる場所、人がいる」、「住民が相談できる場所を知る」というキーワードが出ました。</p> <p>さらに、「世代間交流」、「バリアフリーで、さまざまな障壁を取り除く環境づくり」、「〇〇さんと呼びあえ、頼りあえる連携」、「相談ケースの検討・分析を行政部門の連携に反映してほしい」、「子育て支援施策では何ができるか、検討したものに関して市民から声をかえしてもらおう」、「各分野・属性の共有」、「行政と地域が一体（チーム）となり活動を盛り上げていく」、「重層的支援の具体化・現実化」という意見も出ています。</p> <p>それから、「知らないという人がないように相談機関の周知をする」、「情報を届ける人の存在」、「SNSの出番」という意見もありました。</p> <p>出していただいたものはまだバラバラで、どういったものが立ち上ってくるかは見えませんが、ここから基本目標3につながるものと考えていけ</p>

	<p>たらしめます。</p> <p>続きまして、基本理念のキーワードを検討していきたいと思います。 第1期、第2期、そしてコロナ禍を経て、第3期の基本理念では、「豊かな心で支え合う ●●●●● ふじみ野」の●●●の部分にはどういった言葉がふさわしいか、資料3をもとに振り返り、皆様のご意見を提案いただきたいです。</p> <p>（「基本理念の●●●にふさわしい言葉」について、個人でポストイットへ書き出し、事務局が貼り出しを行う）</p>
山本会長	<p>みなさんに考えていただいたものを見ていきますと、「人と人がつながっているまち」、「お互いが気にかけてあうまち」、「つながりのあるまち」、「誰もが地域のことを考えるまち」、「人と人がふれあうまち」、「多様性を認め合うまち」、「互いを認めあえるまち」、「みんなが輝けるまち」、「夢と希望のある」、「いつまでも住んでいitくなるまち」というように挙げていただきました。</p> <p>欠席者には、本日の会議の結果も含めて郵送等でお知らせ、並びにご意見をいただけるようにしたいと思います。</p> <p>(3) その他</p>
山本会長	<p>次に、議題3「その他」です。事務局より何かありますか。</p> <p>ないようですので、これで本日予定されていた議題は全て終了しました。今回挙げたキーワード等については、整理して、次回審議会時にみなさんにお示しできればと思います。</p> <p>それでは、これをもちまして議長の任を解かせていただきます。</p> <p>慎重審議ありがとうございました。</p>
仲野課長	<p>3. その他</p> <p>山本会長ありがとうございました。</p> <p>それでは次第の3「その他」ですが、事務局より連絡事項がございます。</p>
事務局	<p>(審議会委員報酬の振込予定等について事務連絡)</p>
仲野課長	<p>4. 閉会</p> <p>それでは閉会にあたりまして、岡田副会長よりご挨拶をお願いします。</p>
岡田副会長	<p>みなさま、本日はお疲れ様でした。</p> <p>私は、今住んでいる街で有機農家の方に家庭菜園のアドバイスをいただいたのですが、やはり土づくりが大切ということでした。土づくりが上手いかなないと、どんなに種をまいても、水をあげても育たない、そして自分の周囲の環境を知らないと作物は育たないとおっしゃっていました。</p> <p>これを地域福祉に絡めると、住民同士の関係・住民自治が土にあたるのかなと考えました。仕組みを考えてもそれを活かそうとする姿勢がなければ地域福祉は育っていかないと思いますので、本計画も、地域福祉活動計画と両輪で動かしていくということが今後も重要になるのではと思います。</p>

	以上をもちまして、令和5年度第1回ふじみ野市地域福祉計画審議会を閉会いたします。 みなさま、ありがとうございました。
--	---